

厚労省

医学部「地域枠」初定義

別枠で選抜、9年以上従事

厚生労働省の医師需給に
関する検討会の分科会は31
日、地域医療に従事する医
師養成のための大学医学部
の「地域枠」に関し、選抜

を果たせば返済を免除する
など運動するケースが多い
が、必須ではないとして定
義に含めなかった。

厚労省は、今年の医師需
給推計も公表。医学部の定
員が現状のままならば、医
師の労働時間を「週55時間」
とした場合では、32年ごろ

は別枠方式で、卒業直後か
ら特定の都道府県で9年間
以上従事するとの定義を予
承した。2022年度の入
試から適用される見込み。

志願時に従事や離脱の要
件について書面で同意する
ことも含める他、能力向上
を図る都道府県のキャリア
形成プログラムへの参加も
要件とする。

には必要とされる医師数約
36万6千人が確保され、そ
の後は供給過多となると推
計。同じく「週60時間」と
した場合には29年ごろ、必
要とされる医師数約36万人

地域枠の正式な定義付けは
初。

医学部の定員は地域枠を
中心に、これまで臨時定員
増が認められてきた。22年
度は見直しの対象だった

が確保されるとした。
一方で、全体の医師数が
確保されても、地域間の格
差、偏在の問題は残る。分
科会では、臨時定員を減ら
しつつ、地域枠は残す方向

同省によると、これまで
設定方法や内容がばらばら
で、離脱者が出てトラブル
になる事例があった。十分
な事前説明と同意のため、
明確な定義が求められてい
た。

年度と同様の水準とするこ
とも決めた。新型コロナウイルス
感染拡大の影響で十分
議論ができなかったため
という。

で検討を進めている。地域
枠を恒久定員内でも増やし
ていく議論も行われた。

奨学金については、義務

9月11日 神戸新聞分

医師確保は必要であると思います。
人の生命を預かる仕事だけに、利用する側が
機会の一つとして悪用しないことを祈るばかりです。